



# 日常的なにぎわいを生みだすための 道路空間の活用(ミチカツ)社会実験

館林市 都市建設部 都市計画課 都市再生推進係

## はじめに

館林市では、人口減少・少子高齢化が進み財政状況がひっ迫するなか、まちを存続させていくためには、まちなか再生に取り組む必要があることから、ウォークブル都市をキーワードに、目指すべき姿を示した「館林市まちなかにぎわい再生方針」を令和3年3月に策定し、「居心地の良い公共空間の創出」を目指すべき姿のひとつに掲げております。

まちなかで大きな面積を占める公共空間を最大限に活用し、経済活動の場として市民が気軽に使える開かれた居心地の良い場所の創出に向け、東武鉄道館林駅東口駅前広場の歩道部において、キッチンカー出店による道路空間の活用(ミチカツ)社会実験を実施しています。

## 実施概要

- 1. 実施期間** 令和3年11月24日(水)～令和4年3月21日(月) 10:00～18:00の間  
※天候等により出店時間を変更する場合や出店できない場合があります。
- 2. 場 所** 館林駅(東武鉄道)東口駅前広場
- 3. 内 容** 歩道部でのキッチンカー出店
- 4. 主 催** 館林市・館林商工会議所

出店情報や出店者募集等については、右のQRコードをお読み取りいただくとご確認できます。



社会実験ポスター



ミチカツ QRコード

## 実施状況

令和3年11月23日に現在事業中の都市計画道路中央通り線沿道でのミチカツフェスタなど市内13のイベントを同時開催した「つなぐ・まちなかフェス」において、キックオフイベントを行いました。

令和3年12月末時点で、6店舗のキッチンカー事業者の方に登録をしていただいております。計18日出店をしていただきました。来年度も引き続き社会実験を実施する方向で、出店者からの意見のフィードバックなど、関係各所と調整を進めているところです。



ミチカツフェスタ



キックオフイベント

## 終わりに

人口減少の進行や少子高齢化の進展など様々な課題が山積しています。この状況において、限られた資源のもと、効率的にまちなかの再生を図るためには、行政・市民・事業者等が目指すべきまちの将来像を共有してまちづくりに取り組むことが重要であり、多様な使い方や考え方を取り入れて暫定利用や一時的な実験の取り組みを重ねていくことが必要になります。

日常的なにぎわいは、イベントなどによるにぎわいとは異なり、地域の習慣となる生活や文化を創出することであり、時間が掛かるものだと思います。今回の社会実験のような、まちに変化を起こすためのチャレンジを繰り返していくなかで、ひとつでも多くの館林としての日常的なにぎわいを生みだすことができるように、引き続き官民連携による取り組みを進めていきたいと思っております。